

契約保証金 担保等内訳書
~~免除申請書~~

担保等を提供する場合は、「免除申請書」を2重線で消す

1 工事の名称	〇〇〇〇工事
2 工事の場所	坂戸市千代田〇丁〇〇番〇〇号
3 請負金額	金〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円也
4 工事期間	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日～令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

上記工事の請負契約を締結するにあたり、坂戸、鶴ヶ島水道企業団契約事務規程により

① 担保等を提供（納付）したので内訳書を提出します。

(2) 契約保証金の免除を申請します。

(1)に〇印 ※ 上記(1)又は(2)のいずれかに〇印をつけること。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

「契約日」を記入

坂戸、鶴ヶ島水道企業団

企業長 〇 〇 〇 〇 様

住 所 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地〇〇号

商号又は名称 株式会社〇〇〇〇建設〇〇支店

代表者氏名 支店長 〇 〇 〇 〇 印

納付・提供した担保の種類・金額等又は免除申請理由

契約印を押印

納付・提供した担保の種類・金額等 (該当番号に〇印)	1 現金納付又は銀行振込 2 国債・地方債 3 政府の保証のある債権 4 銀行等の発行する債権 5 銀行等に対する定期預金債権 ⑥ 銀行等又は保証事業会社の保証
-------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

1～6のうち、該当する番号に〇印

免除申請理由(該当番号に〇印)	7 公共工事履行保証契約（履行ボンド）を締結 8 履行保証保険契約を締結
-----------------	-----------------------------------------

(注) 2～8に〇印をつけた場合は、預り書、保証書、保険証書等の原本を添付すること。

別紙 2

契 約 保 証 金 ~~担保等内訳書~~
免 除 申 請 書

免除申請する場合は、「担保等内訳書」を2重線で消す

1 工事の名称	〇〇〇〇工事
2 工事の場所	坂戸市千代田〇丁〇〇番〇〇号
3 請負金額	金〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円也
4 工事期間	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日~令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

上記工事の請負契約を締結するにあたり、坂戸、鶴ヶ島水道企業団契約事務規程により
(1) 担保等を提供(納付)したので内訳書を提出します。

(2) 契約保証金の免除を申請します。

(2)に〇印 ※ 上記(1)又は(2)のいずれかに〇印をつけること。

令和〇〇年〇〇月〇〇日 「契約日」を記入
坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 〇 〇 〇 〇 様

住 所 〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地〇〇号
商号又は名称 株式会社〇〇〇〇建設〇〇支店
代表者氏名 支店長 〇 〇 〇 〇 **(印)**

納付・提供した担保の種類・金額等又は免除申請理由

契約印を押印

納付・提供した担保の種類・金額等 (該当番号に〇印)	1 現金納付又は銀行振込 2 国債・地方債 3 政府の保証のある債権 4 銀行等の発行する債権 5 銀行等に対する定期預金債権 6 銀行等又は保証事業会社の保証
-------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

免除申請理由(該当番号に〇印)	7 公共工事履行保証契約(履行ボンド)を締結 (8) 履行保証保険契約を締結
-----------------	--------------------------------------------------

7又は8の該当する番号に〇印

(注) 2~8に〇印をつけた場合は、預り書、保証書、保険証書等の原本を添付すること。

既に登録されていて振込先金融機関等を変更する場合は変更に○印

(新規・変更) ※どちらか一方に○をつけてください

令和 年 月 日

法人の場合、会社名
等、役職名、代表者
氏名を記入

住所 ○○県○○市○○丁目○○番地○○号

依 頼 人 氏 名 株式会社〇〇〇〇建設〇〇支店

支店長 ○ ○ ○ ○

電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

坂戸、鶴ヶ島水道企業団から受ける支払金については、今後、下記の口座へ振り込まれるよう依頼します。

※太枠の中をご記入ください

金融機関コード

振込先金融機関	銀行 信用金庫 農協										本店
											支店
	預金種別	(1) 普通 (2) 当座		口座番号							
フリガナ 口座名義											

依頼人の口座を正確に記入し、フリガナを付けること。

口座番号は右詰
で記入

水道企業団記入欄

受 付 日	債権者コード	処 理 日	処理担当者
月 日		月 日	

※お願い

- ・依頼人氏名欄は、法人等の場合、会社名等、肩書、代表者名を記入してください。
- なお、依頼人印は、請求書に使用する印（法人等の場合は会社印、代表者印）を使用してください。
- ・口座番号は右詰で記入してください。
 - ・口座名義欄には、依頼人の口座を正確に記入し、フリガナを付けてください。

別紙 4

坂戸、鶴ヶ島水道企業団 建設工事標準請負契約書

- | | | |
|---|------------------------------------|--------------------------------|
| 1 | 工 事 名 | 〇〇〇〇工事 |
| 2 | 工 事 場 所 | 坂戸市千代田〇丁〇〇番〇〇号 |
| 3 | 工 期 | 令和〇〇年〇〇月〇〇日から
令和〇〇年〇〇月〇〇日まで |
| 4 | 請 負 代 金 額
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額) | 金〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円也
金〇〇〇, 〇〇〇円也 |
| 5 | 契 約 保 証 金 | 記入しない |
| 6 | 前 金 払 | あり (請負代金額の40パーセント以内) |
| 7 | 部分払の請求回数 | なし |
| 8 | その他の特定条件 | なし |

工期期首は契約日
年月日に余白は作らず
詰めて記入

請負代金額は、「金」及
び「円也」の間に余白は
作らず詰めて記入

請負代金額が130万円を
超える建設工事で、前金払
の設定がされている場合、
前金払を請求しない場合で
あっても『あり(請負代金
額の40パーセント以内)』
とすること。

※請負代金額が130万円
以下の建設工事または前金
払の設定がされていない建
設工事の場合のみ、『なし』
とすること。

記入しない

部分払が設定さ
れている場合は
その回数を記入

代表者氏名は記入しない
商号又は名称の前後には
余白は作らず詰めて記入

上記の工事について、発注者坂戸、鶴ヶ島水道企業団と受注者株式会社〇〇〇〇
建設 〇〇支店は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の約款によっ
て公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

この契約の証として本書2通を作成し、発注者及び受注者が記名押印のうえ、各
自1通を保有する。

契約日を記入
通常は入札(見積開封)日(一般競争入札において
は、落札決定通知日)の翌日から起算して7日目を
契約日としているが、経営企画担当の指示に従って
記入すること。また、余白は作らずに詰めて記入す
ること。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

発 注 者	所 在 地	埼玉県坂戸市千代田一丁目1番16号
名	称	坂戸、鶴ヶ島水道企業団
		企業長 ○ ○ ○ ○

印

受 注 者	所 在 地	〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番地〇〇号
	商号又は名称	株式会社〇〇〇〇建設 〇〇支店
	代表者氏名	支店長 ○ ○ ○ ○

印

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
標準委託契約書

- | | | | |
|---|-------------------------------|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 委託業務の名称 | 〇〇〇〇業務委託 | 履行期間の期首は特別な指示がない限り契約日
年月日に余白は作らず
詰めて記入 |
| 2 | 履行場所 | 坂戸市千代田〇丁〇〇番〇〇号 | |
| 3 | 履行期間 | 令和〇〇年〇〇月〇〇日から
令和〇〇年〇〇月〇〇日まで | 委託金額は、「金」及び
「円也」の間に余白は作
らず詰めて記入 |
| 4 | 委託金額
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額) | 金〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円也
金〇〇〇, 〇〇〇円也 | |
| 5 | 契約保証金 | 免除 | 「免除」と記入 |
| 6 | 前金払 | あり (委託金額の30パーセント以内) | 委託金額が50万円以上の
建設工事に関する設計、調
査、測量業務で、前金払の
設定がされている場合、 <u>前
金払を請求しない場合であ
っても『あり (委託金額の
30パーセント以内)』とす
ること。</u> |
| 7 | 部分払の請求回数 | なし | 部分払が設定され
ている場合は
その回数を記入 |
| 8 | その他の特定条件 | なし | ※それ以外の委託業務また
は前金払の設定がされてい
ない委託業務の場合は、『な
し』とすること。 |

上記の委託業務について、発注者坂戸、鶴ヶ島水道企業団と受注者株式会社〇〇〇〇 〇〇支店は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の約款によって公正な委託契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

この契約の証として本書2通を作成し、発注者及び受注者が記名押印のうえ、各自1通を保有する。

契約日を記入
通常は入札（見積開封）日の翌日から
起算して7日目を契約日としている
が、経営企画担当の指示に従って記入
すること。また、余白は作らずに詰め
て記入すること。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

所在地 埼玉県坂戸市千代田一丁目 1 番 1 6 号
 発注者 名 称 坂戸、鶴ヶ島水道企業団
 企業長 ○ ○ ○ ○ 印

所 在 地 ○○県○○市○○丁目○○番地○○号
受注者 商号又は名称 株式会社○○○○ ○○○支店
代表者氏名 支店長 ○○○○○ 印

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
標準物品売買契約書

1 件 名 ○○○○の購入

2 品名、規格及び数量 別紙仕様書のとおり

3 納入場所 ○○○○○○

年月日に余白は作らず
詰めて記入

4 納入期限 令和○○年○○月○○日

契約金額は、「金」及び
「円也」の間に余白は作
らず詰めて記入

5 契約金額 金○○○, ○○○円也
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額)

金○○, ○○○円也

6 契約保証金

免除

「免除」と記入

代表者氏名は記入しない
商号又は名称の前後には
余白は作らず詰めて記入

上記の物品の売買について、発注者坂戸、鶴ヶ島水道企業団と受注者株式会社○○○○ ○○○支店は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の約款によって公正な物品売買契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

この契約の証として本書2通を作成し、発注者及び受注者が記名押印のうえ、各自1通を保有する。

契約日を記入
通常は入札（見積開封）日の翌日から
起算して7日目を契約日としている
が、経営企画担当の指示に従って記入
すること。また、余白は作らずに詰め
て記入すること。

令和○○年○○月○○日

所 在 地 埼玉県坂戸市千代田一丁目1番16号
発注者 名 称 坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 ○ ○ ○ ○ 印

所 在 地 ○○○県○○市○○丁目○○番地○○号
受注者 商号又は名称 株式会社○○○○ ○○○支店
代表者氏名 支店長 ○ ○ ○ ○ 印

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
標準物品修繕請負契約書

1 件 名 ○○○○修繕

2 履 行 場 所 坂戸市千代田○丁○○番○○号

年月日に余白は作らず
詰めて記入

3 履 行 期 限 令和○○年○○月○○日

請負代金額は、「金」及
び「円也」の間に余白は
作らず詰めて記入4 請負代金額 金○○○, ○○○円也
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額)

金○○, ○○○円也

5 契約保証金 免除

「免除」と記入

代表者氏名は記入しない
商号又は名称の前後には
余白は作らず詰めて記入

上記の物品の修繕について、発注者坂戸、鶴ヶ島水道企業団と受注者株式会社○○○○ ○○○支店は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の約款によって公正な物品修繕請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

この契約の証として本書2通を作成し、発注者及び受注者が記名押印のうえ、各自1通を保有する。

契約日を記入
通常は入札（見積開封）日の翌日から
起算して7日目を契約日としている
が、経営企画担当の指示に従って記入
すること。また、余白は作らずに詰
めて記入すること。

令和○○年○○月○○日

所 在 地 埼玉県坂戸市千代田一丁目1番16号
発注者 名 称 坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 ○ ○ ○ ○ 印

所 在 地 ○○○県○○市○○丁目○○番地○○号
受注者 商号又は名称 株式会社○○○○ ○○○支店
代 表 者 氏 名 支店長 ○ ○ ○ ○ 印

別紙 8

収 入

印 紙

請

書

- 1 工 事 名 ○○○○工事
- 2 工 事 場 所 坂戸市千代田○丁○○番○○号
- 3 工 期 令和○○年○○月○○日から
 令和○○年○○月○○日まで
- 4 請負代金額 金○○○, ○○○円也
 (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額)
 金○○, ○○○円也

工期期首は契約日
年月日に余白は作らず
詰めて記入

請負代金額は、「金」及
び「円也」の間に余白は
作らず詰めて記入

工事請負契約の履行については、信義に従って誠実にこれを履行するものとし、この契約を証するため請書を提出します。

令和○○年○○月○○日

契約日を記入
通常は見積開封日の翌日から起
算して7日目を契約日としてい
るが、担当職員の指示に従って
記入すること。また、余白は作
らずに詰めて記入すること。

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 ○ ○ ○ ○ 様

受注者 住 所 ○○県○○市○○丁目○○番地○○号
氏 名 株式会社○○○○ ○○支店
 支店長 ○ ○ ○ ○

印

別紙 9

収 入

印 紙

請

書

- 1 委託業務の名称 ○○○○業務委託
- 2 履 行 場 所 坂戸市千代田○丁○○番○○号
- 3 履 行 期 間 令和○○年○○月○○日から
令和○○年○○月○○日まで
- 4 委 託 金 額 金○○○,○○○円也
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額)
金○○,○○○円也

期間の期首は特別な指示がない限り契約日
年月日に余白は作らず
詰めて記入

委託金額は、「金」及び
「円也」の間に余白は作
らず詰めて記入

委託業務契約の履行については、信義に従って誠実にこれを履行するものとし、この契約を証するため請書を提出します。

令和○○年○○月○○日

契約日を記入
通常は見積開封日の翌日から起算して7日目を契約日としているが、担当職員の指示に従って記入すること。また、余白は作らずに詰めて記入すること。

坂戸、鶴ヶ島水道企業団
企業長 ○ ○ ○ ○ 様

住 所 ○○県○○市○○丁目○○番地○○号
受注者 氏 名 株式会社○○○ ○○支店
支店長 ○ ○ ○ ○

印

請

書

- 1 件 名 ○○○○の購入
- 2 納入場所 ○○○○○○
- 3 納入期限 令和○○年○○月○○日
- 4 契約金額 金○○○, ○○○円也
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額)
金○○, ○○○円也

年月日に余白は作らず
詰めて記入

購入金額は、「金」及び
「円也」の間に余白は作
らず詰めて記入

物品売買契約の履行については、信義に従って誠実にこれを履行するものとし、この契約を証するため請書を提出します。

令和○○年○○月○○日

契約日を記入
通常は見積開封日の翌日から起
算して7日目を契約日としてい
るが、担当職員の指示に従って
記入すること。また、余白は作
らずに詰めて記入すること。

坂戸、鶴ヶ島水道企業団

企業長 ○ ○ ○ ○ 様

住 所 ○○県○○市○○丁目○○番地○○号
受注者 氏 名 株式会社○○○○ ○○支店
支店長 ○ ○ ○ ○

印

収 入

印 紙

請

書

- 1 件 名 ○○○○修繕
- 2 履 行 場 所 坂戸市千代田○丁○○番○○号
- 3 履 行 期 限 令和○○年○○月○○日
- 4 請負代金額 金○○○, ○○○円也
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額)
金○○, ○○○円也

年月日に余白は作らず
詰めて記入請負代金額は、「金」及
び「円也」の間に余白は
作らず詰めて記入

物品修繕請負契約の履行については、信義に従って誠実にこれを履行するものとし、
この契約を証するため請書を提出します。

令和○○年○○月○○日

契約日を記入
通常は見積開封日の翌日から起
算して7日目を契約日としてい
るが、担当職員の指示に従って
記入すること。また、余白は作
らずに詰めて記入すること。

坂戸、鶴ヶ島水道企業団

企業長 ○ ○ ○ ○ 様

住 所 ○○県○○市○○丁目○○番地○○号
受注者 氏 名 株式会社○○○○ ○○支店
支店長 ○ ○ ○ ○

印